### 1. 名古屋鉄道株式会社が主体となり施行するバリアフリー化設備工事

# 東岡崎駅交通施設バリアフリー化設備整備事業

事業主体: 名古屋鉄道㈱ 施行主体:名古屋鉄道㈱ 整備期間: H21.12~H22.12

事業費:661,106 千円

補助金:国補助:220,368 千円 (1/3) 市補助:220,368 千円 (1/3)

整備内容:橋上駅化によるバリアフリー

建築面積 47.32 m² (1F:27.94 m² 2F:0 m² 3F:19.38 m²)

(ホーム側)

EV2・3号機

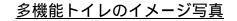
積載量 750kg/11 名、出入口/直角 2 方向(注1)

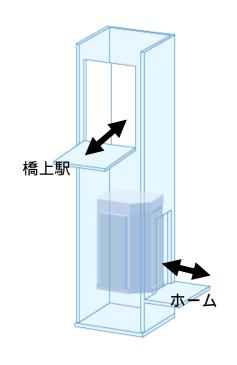
(橋上駅内)

多機能トイレ(1基)

間口 3.1m、奥行き 3.2m、洋便器、L型手摺、可動手摺、 オストメイト用汚物流し、洗面化粧台、便器横手洗い、非常呼出、自動ドア

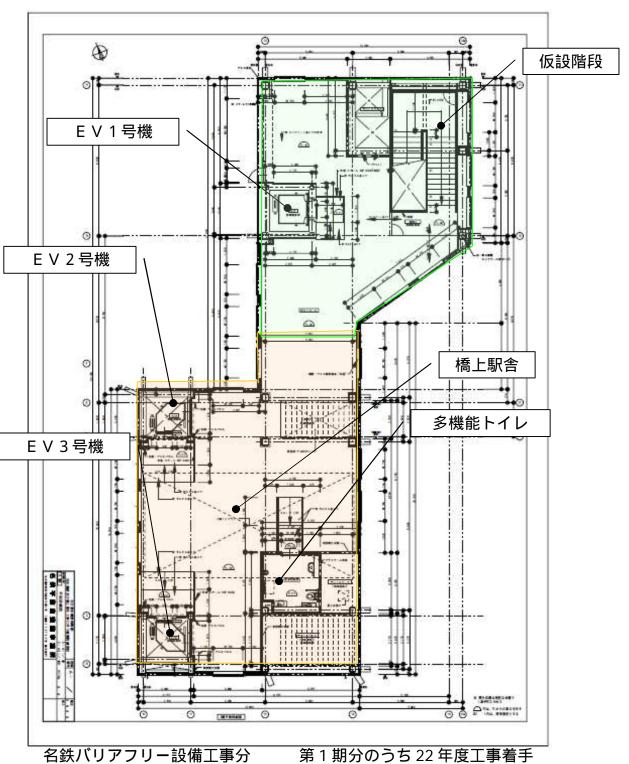
# 注 1 : E V (直角 2 方向)のイメージ







### 3 階平面図



#### 2. 岡崎市と名古屋鉄道株式会社が協定を締結し施行する工事

# (1)東岡崎駅交通施設整備事業0.5期分(東改札交通広場)

事業主体:岡崎市・名古屋鉄道㈱

施行主体:名古屋鉄道(株)

整備期間: H22.4~ H22.12 (交通施設バリフリー化設備整備と一体的に施行)

事業費: 263,000 千円

負担割合: 岡崎市/233,000 千円 88.59% 名古屋鉄道㈱/30,000 千円 11.41%

整備内容:東改札口設置に向けた先行工事(暫定バリアフリー対応含む)

建築面積 579.28 m² (1F:99.92 m² 2F:114.35 m² 3F:365.01)

#### (昇降施設側)

E V1 号機

積載量 1,000kg/15 名、出入口/1 方向

仮設階段

1階 3階 幅員 1,800mm

仮設改札口

改札機/通常1台、幅広1台 精算機/1台 自動発券機/2台 チャージ機/1台 (橋上駅内)

業務サイン

誘導案内サイン(トイレマーク等)1式

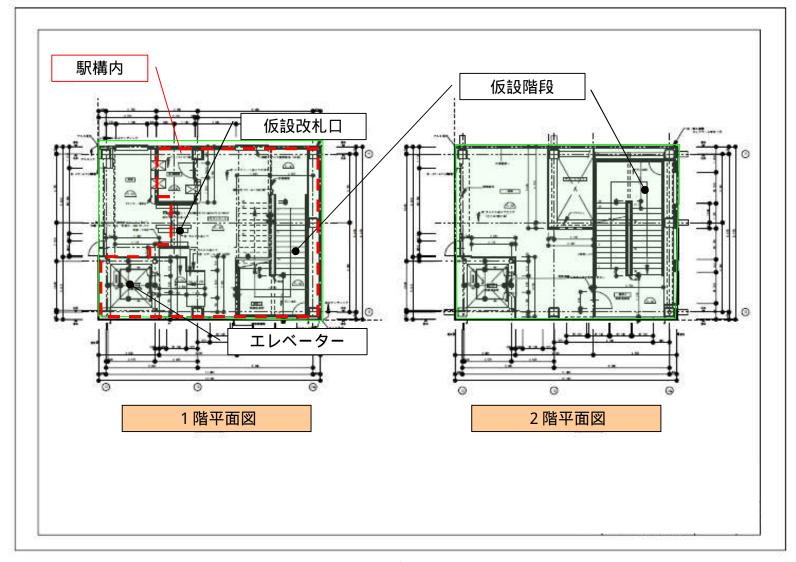
(ホーム側)

その他

LED行先表示器、子時計、案内スピーカー

### 特記事項

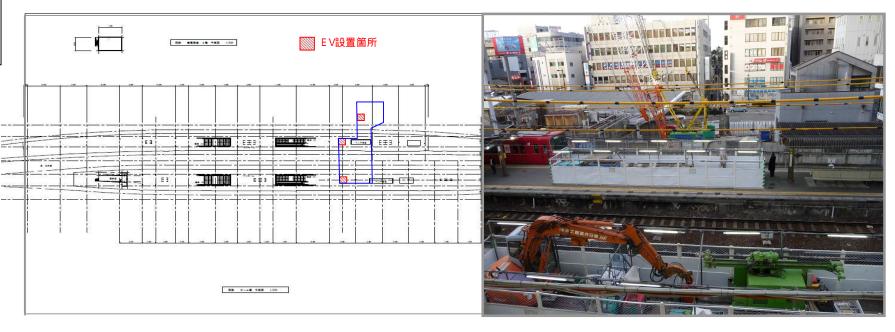
名鉄のバリアフリー設備整備とあわせて平成 22 年 12 月末に昇降施設の 1 階に仮設改札口を設置し暫定供用を開始する予定 昇降施設部分は第 1 期工事完了後にすべて屋内交通広場となる

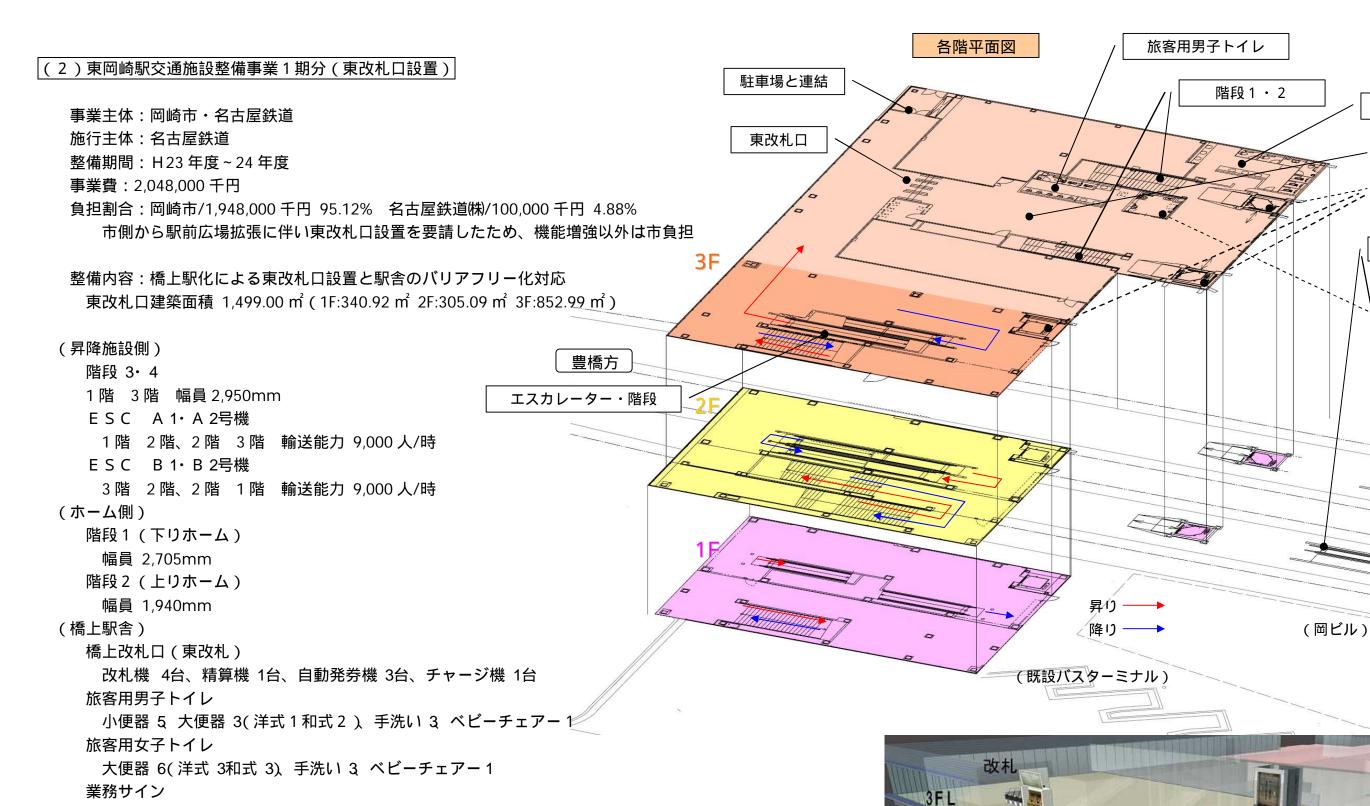


第1期分のうち22年度工事着手

# バリアフリー化設備工事位置図

バリアフリー化設備工事写真(H22.1.14現在)





誘導案内サイン(トイレマーク等) 1式

旅客用女子トイレ

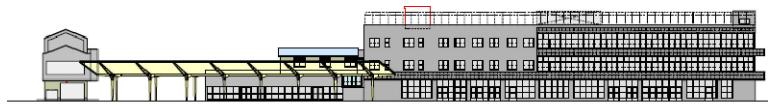
構内コンコース

エレベーター

既設階段・エスカレーター

多機能トイレ

# 交通施設整備工事着手前(H21年11月現在)立面図



# バリアフリー化設備工事竣工後(H23年3月末)立面図



### [暫定バリアフリー化完了]

1 階に仮設改札口が設置され、エレベーターを利用し橋上駅経由でホームまで行ける

# 交通施設整備工事(第1期分)竣工後(平成25年3月末)立面図



#### [東改札口の設置]

図:東改札口の西側断面図

橋上駅舎化による東改札口が完成、利用者は新設されるエレベーター、エスカレーター、階段で昇降する

東改札口は駅南口の駐車場と直結し利便性が向上する 西改札口が設置されるまで現行地下改札口も利用できる



(京降施設) (橋上駅舎) (名古屋方ホーム)

図:第 1期工事竣工時点の東改札口のイメージパース